

# ☆ 元 村 北 自 治 会 ☆



歴代自治会長（現在の元村北自治会発足から）は、小山田健一氏（平成元年→平成16年）、太野軍氏（平成17年→平成20年）、三上勲夫氏（平成20年→現在）が務めています。

私たち元村北自治会は、平成元年に前の班体制の北自治会から分離して、今の元村北自治会として発足しました。

元村集落センターが昭和59年3月に土地を小山田権次郎様より無償貸与していただき、農業の各8グループ（滝沢果樹協会、滝沢中央共防組合、みのりグループ、拓継会、ふれあい協同直売所、他2グループ）と、自治会の会員・子ども会の2グループ計10グループの支払いで農業関係事業として建設しました。今も自治会および農業関係のすべてを無料で使用しています。

元村北遊園地は、平成3年8月に井上岩松様より土地を無償貸与していただき、元村北遊園地として落成しました。今は、運動会やゲートボールの練習に使用しています。

おしどり会は、平成3年2月に発足。60歳以上を会員として会費を納めてもらい、老人クラブの運動会やゲートボール協会の会員、そして踊りの部は各演芸会等に出演しています。各部とも成績が良く、今後この成績を維持していくことが大変だと思います。

元村北自治会の所在地は、県道16号線を挟んで、南は柵宜屋敷の信号から北は木賊川の信号までと、東は牧野林工区1号線（昔のトロッコ道）を挟む細長い農業地帯です。

名所旧跡もなく、今のところ人口減はあっても増加する見込みはありません。それでも安心できることは、自治会の人たちの協力があることです。何事も他人事ではなく、自分自身のことと考えて協力、実行してくれることです。

近年決まるのか、TPPの問題が気にかかります。人口減で自治会費の金額が年々少なくなってきて自治会の活動も縮小する方向にあります。自治会役員も頭を痛めています。

平成23年3月11日の東日本大震災の時は、私たち元村北自治会では、停電くらいで心配したよりも被害は少なく、農村地区であるため隣近所が遠く、また廻りは田んぼや畑であったために防災の用意をすることもなく、普段の生活より少し不便であった程度で済んだことが一番良かったと思います。自治会の人たちからも何の要望も苦情もなく、また避難者も出ず、私たちの今の居住地は最高の居住地であったと思っています。

人口減による自治会活動の大変さ、足の不便さ等々あっても、安心して生活ができるこの地域が最高です。

テレビや新聞で毎日出てくる、津波てんでんこの話、海の近くではない私たちも、何かあったとき、津波てんでんこを忘れずに心に留めておきたいと思います。